

## 施策評価調書

### 1 施策の概要

(1)	施策名	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充／支え合いのネット					
(2)	総合計画の体系	第	3	章	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		第	4	節	地域での暮らしを支えるまちづくり		
		第	13	細節	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充／支え合いのネット		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		352	2,569	1,275	
		従事職員数		0.35 人	2.25 人	2.25 人	
		所要人件費(B)		2,823	19,113	19,782	
		総事業費(A+B)		3,175	21,682	21,057	
		財源内訳	収入	国庫支出金	736	962	7,669
				府支出金	425	481	3,835
				その他	762	549	7,942
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	58	0	159
一般財源	1,194			19,690	1,452		

### 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	事業実施地区(岸部・西山田地区)徘徊模擬訓練「認知症サポート声かけ見守り訓練」の参加者数	目標値 (単位:人)	100.00	200.00	200.00
		実績値 (単位:人)	163.00	215.00	/
		達成度(%)	163.0	107.5	
目標値の積算方法	参加人数の実績値				
指標内容	認知症サポーターの養成数	目標値 (単位:人)	10,500.00	14,300.00	18,100.00
		実績値 (単位:人)	10,726.00	14,147.00	/
		達成度(%)	102.2	98.9	
目標値の積算方法	24年度～26年度:吹田市民の3% 27年度～29年度:吹田市民の6%				

### 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

認知症になっても安心して暮らせるまち吹田をめざし、地域住民と事業者が連携し、高齢者を見守るネットワーク構築のため、施策の着実な実施が重要です。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	認知症初期集中支援推進事業	高齢福祉室	01435	なし	大	18	18	20	18	20	94	継続
2	認知症地域支援・ケア向上事業	高齢福祉室	01436	なし	大	18	18	16	20	20	92	継続
3	認知症サポーター養成事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00417	なし	大	20	18	18	20	16	92	継続
4	認知症地域サポート事業	高齢福祉室	01433	全部	大	18	18	18	20	16	90	継続
5	高齢者支援事業者との連携による見守り事業	高齢福祉室	00368	全部	大	16	20	20	18	20	94	継続
6	徘徊高齢者SOSネットワーク事業(介護保険特別会計)	高齢福祉室	00418	なし	大	20	20	18	18	18	94	継続
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		認知症総合支援事業として、市が必ず実施しなければならない認知症初期集中支援推進事業と認知症地域支援・ケア向上事業を上位に位置付けました。次いで、市民等に認知症を正しく理解してもらおう認知症サポーター養成講座を位置付けました。										